

## 倉吉市自治公民館施設整備資金貸付制度と 山陰合同銀行倉吉支店殿のご対応に関する件

お早うございます。皆様にご連絡いたします。

5月7日付け弊メール（下記）にて題記の件につきご報告いたしましたが、その後、倉吉市殿側と山陰合同銀行倉吉支店殿側の関係者の迅速なご対応ご協力により、昨日5月10日午後4時に倉吉市地域づくり支援課の担当係長殿と主任殿が拙宅に来られ添付の様な同銀行同支店の山根 正広 支店長名による「貸付決定通知書」（石田耕太郎倉吉市長様宛ての文章）の写しを頂きました。

私個人の感想として、この様な決済を得るには、合銀殿の支店からまず松江市の本部へ申請書（稟議書）を提出し関係部署の審査認可を得る必要があると想像致します。

従って、本来それに要する日数を考えると今回の実働2日間の対応は山根支店長殿が”一身を投げうった”程の動きをされなければ実現しないのではないかと想像致します。

勿論、倉吉市役所殿側の積極的で迅速なご対応があったのは間違いありませんが、それ以上に山根支店長殿ご自身の真摯な反省と強い責任感があってこそのものであると

存じます。そして不遜にも同支店長殿を叱責申し上げた私自身がその念を強くしているのも事実であります。昨日この「貸付決定通知書」を頂いた事で添付している新築の工程表にある スケジュールに何の遅滞・不都合も生じておりません。本当にありがとうございました。（この工程表に記述している特に入札に関わる詳しい日程は業者が決まるまでは皆様ご自身のみ情報にして頂きたくお願い申し上げます。入札は色々な意味でデリケートな部分が多いというのが理由であります。何卒ご理解下さい）

「雨降って地固まる」とは日本の諺であります。今私が少し凝っている英語では「After rain comes fair weather」と言うのだそうです。洋の東西で“雨”は負のイメージなのでしょう。然し営業の仕事が多かった私自身の現役時代を振り返るとこの雨が、言い換えると「クレーム処理」が実はお客様と仲良くなれる絶好のチャンスだという事を国内でも海外でも

体験させて頂きました。これは、先日売却された日立金属という会社から何度も繰り返し教えられてきた事でもありました。

今後の山陰合同銀行倉吉支店 山根正広 支店長様の益々のご活躍と倉吉市役所殿のご発展をお祈りいたします。  
ありがとうございました。

倉吉市福庭自治公民館長 土井 承夫（どいよしお）